Ⅱ-26. 個人コード変換情報の登録



他社製品のグループウェアからのシングルサインオンや、Windows にログインしたユーザ(Active Directory)からのシングルサイン オンを利用する場合に設定します。他社製品のグループウェアにロ グインするIDと勤次郎の個人コードが異なる場合に設定します。

画面説明

《個人コード変換情報の登録 画面イメージ》



《個人コード変換情報の登録 項目説明》

- (1) 個人コード 個人コードを入力して検索ボタンを押すと、該当する個人を個人一覧に表示します。(退職者は除外)
- (2) 個人名 個人名、又はカナ名を入力して検索ボタンを押すと、該当する個人 を個人一覧に表示します。(退職者は除外)
- (3) 未設定者 個人コード変換情報が登録されていない個人のみを表示します。 ※詳細はPOINTをご確認ください。
- (4) 全員 全ての個人を表示します。※詳細はPOINTをご確認ください。



- (5) 個人一覧 (1)~(4)の設定条件に該当する個人名が抽出されます。
- (6) 登録 メイン画面に表示されている情報を登録します。
- (7) 削除 メイン画面に表示されている情報を削除します。
- (8) 個人コード 登録されている個人情報の個人コードを表示します。
- (9) 個人名 登録されている個人情報の個人名を表示します。
- (10)ドメイン
 <Active Directoryのシングルサインオンを利用する場合> Windowsにログインするドメインを設定します。
 <他社製品のグループウェアからのシングルサインオンを利用する場合> 他社製品の会社CDを設定します。無い場合は「1」を設定します。
- (11) USERID
 < Active Directoryのシングルサインオンを利用する場合> WindowsにログインするUSERIDを設定します。
 <他社製品のグループウェアからのシングルサインオンを利用する場合> 他社製品にログインするIDを設定します。

※各運用方法につきましては、以下のマニュアルをご確認ください。

Active Directryを利用したシングルサインオン

・・・『勤次郎 運用マニュアル(第6章 1-①)』

他社製品のグループウェアからシングルサインオン

・・・『勤次郎 運用マニュアル(第6章 1-2)』

※『ドメイン + USERID』が重複する設定は、登録できません。